



会派みどり
渡邊 龍之

財政健全化計画について

【質問】 財政健全化計画策定に至った財政運営について伺う。

【答弁】 本市の財政状況は以前から厳しい状況に置かれており、道内自治体に先駆けてさまざまな行政改革に取り組んできたところですが、このような状況下でしたが、地域振興に向け有利な財源を活用し地域活性化事業、小・中学校の耐震化事業などその時々に応じて必要な政策を判断してきました。

また、滝川市土地開発公社の整理、公共施設ストックマネジメント計画の策定、施設の集約化を進め財政の健全化に努めています。将来世代に負担を先送りしないよう持続可能な市政運営を行うため計画を策定し、身の丈に合った歳出となるよう見直しを進めていくことが必要と判断したところです。

事務事業の見直しについて

【質問】 事務事業の見直しを図るう

えてPDCA（計画、実行、評価、改善）を取り入れた事業の対応について伺う。

【答弁】 事務事業の見直しの視点は、目的達成の手段としての適切さ、成果、事業の終期、費用対効果、民間実施の可能性などであり、一定期間事業を実施したうえで見直しに至ったものです。また、事務事業の見直しは、5年間で1億2、000万円の削減効果を見込むところですが、真に必要な政策を最良の手法で構築することを念頭に置き、各所管、職員が共通認識のもとPDCAサイクルによって政策を磨き上げていきます。

副市長2人制について

【質問】 今後の事業展開を進めるうえで必要と判断した場合は再度、民間から登用するのか伺う。

【答弁】 副市長2人制、あるいは民間からの登用などについては、市政運営において懸案事項、重要な政策課題の解決、さらに将来を見据えた中で最も効果的で経済的かを勘案し柔軟に対応すべきとらえており、必要と判断した場合は登用を検討することもあります。



会派みどり
小野 保之

防災行動計画について

【質問】 空知川・石狩川がある本市の洪水対策は重要と思うが、ゲリラ豪雨時の対策本部の設置、初動、関連機関との連携、市民への緊急連絡体制について伺う。また、豪雨時は窓を閉めていてサイレンが聞こえず、避難が遅れることも考えられ、防災発報ラジオの検討も必要と思うが考えを伺う。

【答弁】 ゲリラ豪雨が合った場合の緊急体制は、災害対策本部運用・大雨等災害初動マニュアルを基本に判断して対策本部を設置します。また、関係機関との連携につきましても、警察・消防・自衛隊などが本市とホットラインで結ばれており、休日夜間においても迅速な連絡ができる体制を整えており、テレビやFMラジオ、広報車による伝達、町内会長や自主防災組織への電話、ホームページやエリアメールなどの方法を用いて周知を行います。緊急発報ラジオについ

ては、さらに調査研究を進めたいと思います。

空き家対策について

【質問】 空き家対策特別措置法が全面施行になり対策が進めやすくなる反面、治安や防災、除雪などの問題で苦情が出ることも考えられ、今後さらに空き家の増加も見込まれます。移住者などへの情報提供の取り組みと空き家バンクなどは検討されているのか。特定空き家の件数も併せて伺う。

【答弁】 平成27年第1回定例会において法律に基づく条例の改正により、新たに命令に違反した者や立ち入り調査拒否者の過料規定、勧告を受けた特定空き家の固定資産税軽減措置の除外などにより対策が進めやすくなったものと考えます。治安・防災上の問題や雪の問題は、その都度対応していきます。平成24年度以降に該当した物件は70件あり、「滝川市まち・ひと・しごと創生総合戦略」における重点事業として就業や移住に向けて総合的な情報提供を行う「就業・移住ナビ事業」の活用を含めて検討していきます。